2　次の文章を読んで、問に答えましょう

明治時代の中ごろ、政府は官営工場を安く払い下げました。払い下げを受けた民間企業は、（　１　）や（　２　）の生産に力を入れました。江戸時代から日本の主力輸出品だった（　１　）だけではなく、原料を外国から輸入する（　２　）も生産を拡大。1897年には輸出量が輸入量を上回ります。

日清戦争に勝利した日本は、賠償金の一部を使って（　３　）を建設。鉄鋼の時給が可能となり、造船や機械工業などの重工業が発達します。

工業が発展する一方、農村では貧富の差が拡大しました。貧しい農民は土地を売り払い（　４　）となります。また、都市では長時間労働などで苦しむ労働者と経営者が対立する（　５　）もたくさんおこりました。

工業が重視された明治時代。鉱山開発による公害が全国各地で起きていました。中でも有名なのが栃木県の足尾銅山から流出した有毒物質による公害（足尾銅山鉱毒事件）です。被害を知った衆議院議員の（　６　）は政府に被害者を救済するよう求め、明治店のへの直訴を試みますが、うまくいきませんでした。

問1　上の文章（　）に適することばをいれましょう。

1	生糸	2	綿糸	3	八幡製鉄所
4	小作人	5	労働争議	6	田中正造